

10月	矢作川 愛護モニター報告	モニター区間	矢作川:左右岸 15.0km～21.0km
			管轄出張所:岡崎・安城出張所
実施日	令和 6 年 10 月 6 日	実施区間	15.0km ～21.0km (左岸)

河川敷、堤防を有効活用 岡崎側から見た矢作川



① 水量が多い矢作川(岡崎側より撮影)

10月は岡崎側の堤防から、矢作川をモニタリングしました。9月から10月にかけて当地方は、雨量がかなりありました。そのせいか、矢作川の水量も多く、河川敷の野草群との境目がな

いほどに、ゆったりとした感じで流れていました。渡橋付近の岡崎市河川敷公園では、少年サッカーが行われており、のり面のスタンドでは、応援する保護者の姿が、多数見られました。それに伴って、近くの駐車は、家族の車でいっぱいでした。

サイクリング、散歩を楽しむ

堤防上では、ジョギングを楽しむ夫婦や自転車で颯爽と走り去る若者などの姿が見られました。私の担当区域の矢作川は、左岸側が岡崎市、右岸側が安城市になっています。この担当地域では岡崎側の方が、河川敷の公園の面積は広いようです。

伸びた野草と投棄ゴミ

夏の終わりを迎えたこの時期になっても、背の高い緑の野草は元気です。その陰に隠されるようにしてゴミが捨てられています。何故か階段付近には大きなゴミが捨てられています。



② 岡崎側の河川敷グラウンドで少年サッカー



③ サッカー場近くの駐車場に多くの車



④ サイクリングやジョギングを楽しむ人々



⑤ 野草の中に心無いポイ捨て続く